

〈資料〉

文化的反義語の試案

— 日本語の実例 —

山 田 政 通

要 旨

本稿では、著者がこれまで収集してきた日本語の文化的反義語の実例を紹介した。まず第2節では、多項非両立性、二項対立、コンテキスト依存の観点と標準的反義語との差異を考慮した上で、文化的反義語を定義し、これまでの研究で指摘されてきた代表例を確認した。以上を踏まえて、第3節では、著者が集めた文化的反義語の実例を(1)日常生活、(2)政治・経済・社会、(3)教育・文化の3つの分野別に整理して示し、適宜解説を加えた。最後に、時と共に変わりゆく文化的反義語の変遷にも触れた。

反義語の研究は、語彙の意義関係 (sense relations) に直結するので本来意味論の分野に属するが、文化的反義語は現実世界と深く関わり、コンテキスト依存性が高いので語用論の要素が多いトピックである。本稿を契機に文化的反義語の重要性が認知され、日本語のみならず他の言語でも研究が進むことを期待する。さらに、そのような研究が、異文化理解や辞書の記述の向上、さらに他の分野にも応用されれば幸いである。

キーワード：文化的反義語、多項非両立性、二項対立、コンテキスト依存、無標・有標

目 次

1. はじめに
2. 定義と代表例
 - 2.1 文化的反義語とは
 - 2.2 代表例
3. 実例集
 - 3.1 日常生活
 - ①飲食 ②買い物 ③交通 ④自然 ⑤名前と地名
 - ⑥色 ⑦定型表現 ⑧その他
 - 3.2 政治・経済・社会
 - ①政治 ②社会 ③マスメディア ④医療
 - 3.3 教育・文化
 - ①教育 ②スポーツ ③その他
 - 3.4 文化的反義語の変遷
4. 終わりに
- 参考文献

1. はじめに

本稿では、山田（2015 & 2017）に従い、文化的背景から成立する反義語を「文化的反義語」と定義する。著者が文化的反義語に興味を持ったのは、日本の大学で教授経験があるアメリカの言語学者 Hofmann（1993：40）の次のような指摘であった。アメリカ人にとって *mountain* の反対は *valley* であるのに対し、日本人にとっては山の反対は海であることが多い、という指摘である。多くの日本人は、これまで山と海に挟まれた限定された地域で生活してきたので、自然と山と海を対照的に捉えるようになったのであろう、と Hofmann は推測している。この違いには、言語の知識と共に文化的な背景が大きく関連していると考えられると彼は結論付けている。言語により反義語のペアにバリエーションがありうるというのは、著者にとって新見地であり、言語と文化の接点の現象として調査に値

すると考えた。

本稿の目的は、この数年著者が収集してきた日本語の文化的反義語の実例を整理し、解説をつけて提示することである。これを契機に、文化的反義語の重要性が認知され、他の言語でも研究が進むことを期待したい。また、そのような研究が、異文化理解や辞書の記述の向上、さらには翻訳・通訳などの分野にも貢献できれば幸いである。

言うまでもなく、本稿で示す日本語の文化的反義語の例は、いかなる意味でも「網羅的」ではなく、「部分的」である。事例は、著者自身のこれまでの言語体験（東京とその周辺部）やマスメディア（テレビ、新聞、雑誌、ネット、広告等）から得た情報などを基に集められた私的なリストである。しかし、時間をかけて試行錯誤の上で収集した実例で、文化的反義語研究の第一歩になればと考え、今回本稿で紹介することにした。将来拡充され、より網羅的になることを願っている。

本稿全体の構成は以下の通りである。まず第2節では、文化的反義語の定義とこれまでに指摘されてきた代表例を挙げる。次の第3節が本稿の本体であり、著者が集めた文化的反義語の実例を分野別に示し、解説を加える。最後に、第4節で本稿のまとめと今後の課題を述べる。

2. 定義と代表例

2.1 文化的反義語とは

本稿では、山田（2015：154）に基づき、文化的反義語を、「元来はあるカテゴリーの下位語として多項非両立性（multiple incompatibility）の関係にある二語が、実際の言語使用のコンテキストで選択肢がその二つに限定され、あたかも相補的反義語のように扱われる例」と定義する。文化的反義語は、他の反義語と比較して、特にコンテキスト依存度が高いのが特徴である。Murphy（2003：174）は、標準的反義語がコンテキストに中

立的 (context-neutral) であるのに対して、文化的反義語はコンテキストに依存的 (context-dependent) な特徴があると述べている。さらに、有標理論の視点からすると、前者を無標 (unmarked)、後者を有標 (marked) と捉えることができる。

山 / 海の対比を例にすると、以下のように地形の下位語としては複数のものが存在すると考えられる (反義語ペアは A / B の形で示す) :



図1 文化的反義語としての山 / 海

先に紹介した Hofmann (1993) の指摘のように、多くの日本人にとっては最初の二つが強く意識されていて、「山の反対は何?」と尋ねられると多くの場合「海」と答えるであろう。最初の二つに意識が集中すると、この二つが二者択一の関係になり、二項対立を示す反義語のように扱われると考えられる (勿論「川」、「里」、「野」、「谷」と答える人もいるであろう⁽¹⁾。しかし、近年「海の日」に続き、「山の日」が国民の祝日となったことは、「山」と「海」の関係性の強さを明示している)⁽²⁾。

文化的反義語は、従来の辞書には反義語としての記載がない場合が多く、語学学習者には学びにくいのが現状である。また、反義語は本来意味論の範疇に属するが、文化的反義語は現実世界と深く関わり、コンテキスト依存性が高いので語用論の色彩が濃い研究課題である。

2.2 代表例

先に、Hofmann (1993 : 40) の山 / 海の例を挙げたが、ここでは他の研究者が反義語の議論の中で挙げた例の中で、文化的反義語の候補となる

日本語の例をまとめて提示して、第3節への導入としたい。

① 大塚・中島 (1982)

まず、出発点となるのは、大塚・中島 (1982: 84) が「文化的に定義された反義」の例として挙げたアカ / シロである。『デジタル大辞泉』(p. 1241) によると、「紅白試合」や「紅白戦」などの競技などで対抗するチームを指す「紅白」は、源平時代 (11世紀末から12世紀末までの約100年間) に源氏が白旗を、平家は赤旗を用いたことが起源であるという (尚、祝い事のしるしとしての紅白 (紅白の水引, 紅白饅頭, 紅白の幕など) の紅と白の間には反義性は感じられない)。

② 森岡 (2005 = 1987年6月号の再録, 以下の4点も同じ)

森岡 (2005: 68-71) は、「具体名詞を比喩的に用いて抽象世界の対義関係」を示すことがあると述べて、以下の例を挙げている：

(1) 鷹 / 鶯, 犬 / 猿, 花 / 嵐

鷹 / 鶯は上等なものと同下等なものを、犬 / 猿は敵対関係を、そして花 / 嵐は、好調なものと支障となるものを指す比喩として対比されている (『デジタル大辞泉』は、「花に嵐」という成句を挙げ、「物事にはとにかく支障が起りやすいことのたとえ」としている)。具体名詞を比喩的に用いて、抽象概念相互の関係を単純明快に表現できるのは、メタファーの大きな効用で、反義語もそれに一役買っている。また、森岡は、対義語は文脈や対象によってペアの組合せが違っても指摘している (p. 70)。

③ 田中 (2005)

田中 (2005) は対義語 (= 反義語) の特徴について、反義の意味関係の方向性には柔軟性があるとし、「意味のベクトルは必ずしも固定せず、さまざまに動きうる」(p. 84) と述べている。例として、色彩語については

(p. 84) シロ／クロを起点として：

(2) シロ／アカ, アカ／クロ, アカ／アオ

などのペアがあり、地形についても (p. 84)：

(3) ヤマ／カワ, ヤマ／タニ, ヤマ／ウミ, ウミ／リク, カワ／ウミ

など複数の対立関係がありうるとしている。その上で、「反対語意識は個人差が大きい」(p. 84)と述べ、「語義や語形の変化によって、対義構造は時代とともに大きく変容することが珍しくない」(p. 88)と結論付けている。反義語の習得は、他の意味関係と同様、個人の体験の蓄積に深く関連し、時間の経過と共に通時的な変化へと発展すると考えられる。これは、本稿の文化的反義語の特徴と通じるところが多い(第3節参照)。

④ 村木 (2005)

村木 (2005 : 89-101) は、従来の典型的な反義語のペアを「閉じた反義対」と呼び、それとは別に「開いた反義対」を提案し、次のような例を挙げている (p. 94)：

(4) 和室／洋室, 見ること／聞くこと

村木は、「伝達行為の中で、物事のふたつの側面をとりだして対比させると、反義性が感じられる」とし、人は上記のようなペア間に二価性、両面性を読み取る傾向があると指摘する (p. 94)。部屋のタイプとしては、事実上和室と洋室のペアしかない。見ると聞くは物事を理解する典型的な認知方法であり、「見ると聞くでは、大きな違いだ」とか「百聞 (は) 一見に如かず」などの慣用表現や諺にもみられる反義性を有する。部屋のタイプや物の理解という限定されたコンテキストで有効な反義語ペアである。最後に村木は、対立の意味関係についてのまとめとして、対立は、「われわれの認識に基準をおき、人間の経験や思考過程にもとづいて成立する」(p. 100)とし、その点で、「人間的であり、論理的、科学的でない側面がある」(同上)と述べている。

⑤ 毛利 (2005)

毛利 (2005) は、本稿で取り扱う文化的反義語にあたる例を数多く取り上げて論じていて、文化的反義語の宝庫である。毛利は、対義語を「その文脈において、ある相関関係にある二つの事物を指す語である」と幅広く定義し (p. 106)、以下のような例を挙げている (pp. 103-104):

(5) 私鉄 / JR, 山 / 川, 教授 / 学生

色彩語の例としては (pp. 106-107):

(6) 白 / 黒, 白 / 赤: 運動会の白組と紅組, 紅白歌合戦
赤 / 黒: 赤字, 黒字, 赤 / 青: 赤信号, 青信号⁽³⁾)

その他の例としては (pp. 108-10):

(7) 生菓子 / 干菓子, 生花 / 造花, えびす顔 / えんま顔,
前売券 / 当日券, 練羊かん / 蒸羊かん, 禁煙車 / 喫煙車
トーカー / サイレント (映画の種類)

最後の二つの例は、有標・無標の観点から論じられている。時代の変化と共に、有標と無標が入れ替わることがある。禁煙車とトーカー (発声映画) はかつて有標であったが、現在は一般化し無標となり、喫煙車とサイレント (無声映画) は、特別な存在となり有標に変化した。

⑥ 国広 (2002)

語彙の意義関係 (sense relations) について、国広は語彙的關係と場面的關係の區別を提案している (p. 153)。前者は、語彙体系の中だけで語義の關係を考へることを指し、後者は具体的な場面・文脈の中で語の關係を考へることを意味する。本稿の文化的反義語は、この後者の視点が重要な例であると言へる。国広は、場面的關係の例として次の2つを挙げている (p. 153):

(8) 犬 / 猫 (ペットの好み), 口 / 肛門 (赤ん坊の検温)

ペット動物の好みについて「犬が好きですか猫が好きですか」と尋ねる場

面では、**犬**と**猫**が対義的に使用される。また、病院などで赤ちゃんの検温をする時、「口で測りますか、**肛門**で測りますか」と言えば、**口**と**肛門**は対義語と見なされる。両者とも場面的関係が対比の決め手となっている。

3. 実例集

この節では、これまで著者が集めた日本語の文化的反義語の実例を紹介する。「はじめに」でも述べたように、ここに挙げる実例集は、決して網羅的なものではなく、あくまでも著者の個人的な観察に基づいたもので、今後の研究の出発点をなすものである。

実例は、以下のように分類する。まず、(3.1)～(3.3)では、分野別に日常生活(3.1)、政治・経済・社会(3.2)、教育・文化(3.3)の3つに分類して解説する。そして最後の(3.4)では、時間の経過と共に文化的反義語が変遷する姿に触れる。また、各分野はさらに下位分類される。

各見出しは、 A / B の形(太文字・イタリック体)で提示し、カッコ【】内に対比関係が現れる領域・分野を特定する。さらに必要があれば、それ以下に補足説明を加える。

また、 A / B の語句の順番については、以下のような原則に従った：

- (a) 基になるフレーズや実例での出現の順(例：**文 / 武**：「文武両道」という表現がある；**犬 / 猫**：「犬猫病院」という表現がある)
- (b) 時間軸の順(例：**始発 / 終電**, **前売券 / 当日券**)
- (c) 注目度の順(例：**関東 / 関西**【日本の地域区分】は、著者が関東の出身で、そこでの体験が基になっているので、この順となる)
- (d) 以上のどれにも該当しない場合は、「あいうえお順」とした。

以下に提示した例は、原則として国語辞典(『広辞苑』と『デジタル大辞泉』の2冊)に反義語としての表示がないペアである。また、少数であるが、そのような記載があっても、文化的な反義語として重要で、日本文

化理解に役立つと思われるものは掲載した。

これ以降で実例を示すが、日常生活はさらに以下のように下位分類されている：①飲食，②買い物，③交通，④自然，⑤名前と地名，⑥色，⑦定型表現，⑧その他である。

3.1 日常生活

① 飲食

- (9) **和食 / 洋食**【食事の分類】日本文化と西洋文化は、対になることが多く、**和 / 洋**【様式の分類】としてまとめられる。**和室 / 洋室**（既出）、**和菓子 / 洋菓子**、**和装 / 洋装**、**和服 / 洋服**、**和書 / 洋書**、**和風 / 洋風**、**和式 / 洋式**（トイレなど）などがある。ただし、**日本酒 / 洋酒**、**日本間 / 洋間**などは**日本 / 洋**の対立となる。さらに、**邦 / 洋**もあり、**邦画 / 洋画**、**邦楽 / 洋楽**などがあるが、**邦人 / 外国人**で**洋人**とは言わないなど、対応は多様である。
- (10) **ご飯（はん） / パン**【主食の選択肢】これも上記の**和食 / 洋食**の対比を基にした例で、**お米 / パン**ともいう。洋食時の選択では**ライス / パン**となる。昼などの軽食であれば、**おにぎり / パン**【簡単な食事】という対比もあるであろう。和語と外来語がペアとなるのは珍しい。
- (11) **米 / 小麦**【主食用穀物の代表】上記のペアのもとになる材料である。
- (12) **玄米 / 白米**【米の種類】前者はもみ殻を取り除いただけのもの、後者はさらに精米したものを指す（精米とも呼ばれる）。
- (13) **肉 / 魚**【メインディッシュの選択】**肉 / 野菜**【食物の分類】という対比もある。
- (14) **国産 / 輸入**【産地】**国産品 / 輸入品**ともいう。
- (15) **露地 / ハウス**【野菜の栽培方法】**露地栽培 / ハウス栽培**の略であ

る。

- (16) 天然 / 養殖【ウナギなどの魚介類の育成過程】天然物 / 養殖物という表現がある。標準的反義語としては天然 / 人工である。
- (17) 外食 / 肉食【食事の取り方】肉食は家で料理して食べることを指す。最近では、店で買い、家で食べる中食（なかしょく）という言葉も使われる。
- (18) 甘い / 辛い【味覚】Murphy (2003 : 173) は, “sweet” (甘い) の反義語は, 言語により異なるとし, 例えば韓国語では, 「苦い (bitter)」が, 日本語では「辛い (pungent)」が当たると述べている。

個々の食材

- (19) 豚 (肉) / 牛 (肉)【食肉の種類】
- (20) 玉ねぎ / 長ねぎ【ねぎの種類】
- (21) 男爵 / メイクイーン【ジャガイモの代表】漢語とカタカナのペアは珍しい。
- (22) 幸水 / 豊水【梨の代表】それぞれ「こうすい」と「ほうすい」という。平成以降の梨の二大品種である。
- (23) ナチュラルチーズ / プロセスチーズ【チーズの分類】天然チーズと加工チーズを指す。前者は加工処理なし, 後者は乳化剤を加えて, 加熱溶解した成型チーズで, 均一的な品質と保存性に優れる。
- (24) 塩 / 砂糖【調味料の代表】「辛い」と「甘い」の元となる。
- (25) ケチャップ / マヨネーズ【洋食用味付けソースの代表】トマトケチャップとマヨネーズソースともいう。
- (26) コーヒー / 紅茶【温かい飲み物の代表】他にココア, 緑茶, 甘酒など候補あるが, このペアが温かい飲み物の代表格である。
- (27) そば / うどん【日本の麺の代表】日本伝統の麺 (パスタ) の種類。
- (28) きつね / たぬき【そば・うどんの代表メニュー】前者は油揚げを, 後者は刻みねぎと揚げ玉を載せている。この対比は, 大ヒットした

和風即席カップ麺の商品名の一部となっている（赤いきつねと緑のたぬき [発売元・東洋水産]）。

- (29) 木綿（漉し）／絹（漉し）【豆腐の種類】この二つが代表格で、その他にも寄せ豆腐、焼き豆腐などがある。
- (30) つぶあん（粒餡）／こしあん（漉し餡）【小豆餡の種類】
- (31) 赤あん／白あん【餡の種類】近年は、クリーム餡、抹茶餡などバリエーションが出てきた。
- (32) レモン／ミルク【紅茶に加えるものの代表】
- (33) ホット／アイス【コーヒー・紅茶などの飲み方】熱いものと水を入れて冷やしたものを指す。

② 買い物

- (34) コーン／カップ【アイスクリームやソフトクリームの容器の選択】英語の cone と cup より。
- (35) レギュラー／ラージ【容器のサイズ】普通、サイズは S (small), M (medium), L (large) で表示されるが、コンビニ等では、飲み物用の紙コップを *R* と *L* という文字で、それぞれ「REGULAR 普通」と「LARGE 大きい」と表示している。
- (36) アルミ／スチール【缶の種類】缶詰の区分であるが、使用後のゴミの分別回収の区分ともなる。
- (37) 錠剤／顆粒【飲み薬の種類】飲みやすい医薬品にする為、前者は一定の形に圧縮したもの、後者は小さな粒にしたもの。
- (38) 家庭用・自宅用／プレゼント用【買い物の用途】デパートや専門店での買い物時の選択肢で、プレゼント用（贈り物、お使い物）であると、リボンや熨斗紙を付けて、より装飾的な包装となる。
- (39) ズボン／スカート【性別による洋服の分類】
- (40) スカート／パンツ【女性の服装の分類】

- (41) **ブリーフ / トランクス** 【男性下着の分類】
- (42) **縦型 / ドラム式** 【洗濯機の洗濯方式】前者は旧来のタテ型の水槽タイプで、後者は横になったドラムが回転するタイプである。
- (43) **レギュラー / ハイ・オク** 【ガソリンの種類】それぞれレギュラー・ガソリン、ハイ・オクタン (high-octane) の略で、新聞記事等でもこの二つの価格が対比的に言及される。
- (44) **新車 / 中古 (車)** 【(乗用) 自動車の購買時の分類】
- (45) **持ち家 / 借家** 【家の所有形態】
- (46) **マンション / 一戸建て** 【住宅の形態】都会の住人にとっては、必須の選択肢である。
- (47) **分譲 / 賃貸** 【土地や建物の販売方法】
- (48) **ウィークリー / マンスリー** 【賃貸マンションの契約期間の種類】それぞれ1週間 (あるいは一日) 単位、又は1か月単位で賃貸するマンションを指す。
- (49) **新築 / 中古** 【販売物件の分類】上記のように、自動車であれば、**新車 / 中古**であり、米であれば**新米 / 古米**となる。
- (50) **畳 (たたみ) / フローリング** 【部屋の床の種類】

③ 交通

- (51) **JR / 私鉄** 【鉄道の区分】旧日本国有鉄道が母体のJRと民間企業が経営する私営鉄道の対比を指す。交通情報の報道では、「JR、私鉄各線は通常通り…」という言い方をよく耳にする。(5)に既出。
- (52) **東京メトロ / 都営** 【東京の地下鉄の区分】東京地下鉄が運営する地下鉄と東京都が経営する地下鉄の対比を示すペアである。
- (53) **在来線 / 新幹線** 【JRの路線区分】前者は、新しくできた鉄道線 (特に新幹線) に対して、既存の線を指す。この区分は、鉄道の運行状況の報道でよく使われる。

- (54) **自由席 / 指定席**【列車の座席の区分】劇場やスポーツ会場でも見られる区分である。
- (55) **喫煙席 / 禁煙席**【席の区分】列車や店の座席などの区分である。先に(7)で**喫煙車 / 禁煙車**に触れたが、**喫煙 / 禁煙**は客室や特定の区域にも適応される。
- (56) **急行 / 各駅(停車)**【電車・列車の種類】これは、最も基本的な区別で、さらに詳細な区分（例えば、特急、準特急、快速など）がある路線もある。
- (57) **始発 / 終電**【一日の最初と最後に運行する電車】厳密には、「始発」の反義語は「終発」であろうが、電車の場合は「終電」（「終電車」の略）と言ひ、バスの場合は「終バス」という言い方がある。
- (58) **自家用 / 営業用**【(乗用)自動車の区分】
- (59) **普通自動車 / 軽自動車**【自家用車の区分】前者は白いナンバープレートを付け、後者は黄色のナンバープレートを掲載して区別している。
- (60) **タクシー / ハイヤー**【営業用自動車の貸し切りの形態】前者は流しで客を取るのに対して、後者は事前予約が必要となる。
- (61) **首都高 / NEXCO**【高速道路を建設・管理する会社(元公団)の代表】前者は「首都高速道路公団」、後者は「日本道路公団」(NEXCOはNippon Expressway Company Limitedの略で、ネクスコと読む)で、2005年に民営化された。

④ 自然

- (62) **在来種 / 外来種**【植物の起源】前者は国産種(国内種)とも呼ばれる。
- (63) **桜 / 梅**【春を彩る鑑賞用の花の代表】春の花として人の好みを二分してきた。「桜伐る馬鹿、梅伐らぬ馬鹿」という諺がある。これ

は、桜は幹や枝を伐ると衰弱するが、梅は余分な枝を切らないといふ果実がならないという教訓で、それぞれの特性に従って対応する必要があることを説いている。

- (64) 月／太陽【空で輝く身近な天体】
- (65) 空／地【人を取り巻く空間】頭上の空と足元の地面の対比を示す。
- (66) 水平線／地平線【遠方に見える水面や陸地との境目の線】英語ではどちらも *horizon* (the furthest that you can see, where the sky seems to meet the land or the sea, *OALD*, p. 758) だが、日本語では空との境界が海かまたは陸かで、「水平線」と「地平線」を分けている。
- (67) 犬／猫【身近なペットの代表】かつてペット動物用の病院を「犬猫病院」と呼んだ。森岡 (2005: 69) は、犬／猫は敵対関係を示すと述べている (第2節参照) が、英語でも *cat* / *dog* という対比がある (山田 2017: 280)。
- (68) 飼い犬 (猫) / 野良犬 (猫)【ペットか否かという区別】通常ペットとして飼う犬と猫にだけ当てはまる特別な対比である。
- (69) ウサギ／カメ【対照的な性格の持ち主】前者は「てきぱきと行動が早くすばしこいが油断するタイプ」、後者は「時間はかかるが着実に前進する、おっとり・ゆっくりタイプ」を指す。ある学習塾の広告チラシに、「お子さんはウサギさんタイプですか、それともカメさんタイプですか?」という文言があった (太文字は著者の追加)。この塾のモットーは「カメさんのように粘り強く学習を継続」するタイプの子供を育てることだという。イソップ物語が出典だろうが、日常でも使用されるペアである。

⑤ 名前と地名

- (70) 太郎／花子【子供の男女に付ける名前の代表例】名前には流行が

あり、このペアは現在では古風な名前となった。また、『ケイコとマナブ』というタイトルの雑誌（リクルート社発行、1990年発刊2016年休刊）があったが、趣味、仕事、転身のためのスキルアップや資格取得など習い事の情報を紹介した月刊情報誌で、「稽古」と「学ぶ」をカタカナ表記で名前に置き換えた命名で、若者に人気を博した。数年前のことだが、岡山県のある神社で、男子トイレに彦、女子トイレには姫と記されていたのを見た。辞書にも彦／姫という記述があるが、神社ならではの趣のある表示である。

- (71) **北海道／沖縄**【日本の両極地】日本国中という意味で、「北は北海道から、南は九州、沖縄まで」とよく言われる。英語の類似表現は、山田（2017：277-8）を参照のこと。
- (72) **関東／関西**【日本の地域区分の代表】
- (73) **東京／大阪**【日本の大都市】
- (74) **下町／山の手**【東京の地域区分】英語にも、ロンドンの地域区分を表す *the East End* / *the West End* がある（山田2017：50）。
- (75) **大陸／台湾**【中国の区分】

⑥ 色

- (76) **白／黒**【物事の是非】「白黒をはっきりさせる」という表現で用いられる。
- (77) **白／青**【雲と空の対比】それぞれ白い雲と青い空を指す。
- (78) **黒／赤**【収支決算の余剰と欠損】それぞれ黒字と赤字の対比から生じた。
- (79) **赤／青**【色の対比】信号機で停止と進めを表す。古代日本語の色彩語の4つ（赤、青、白、黒）の中の二つである。また、仏教や陰陽道によると、地獄には赤鬼と青鬼が住むという。
- (80) **赤／黄色**【野菜の色】トマト、スイカなどの代表的な色を指す。

- (81) 緑 / 黄色【キウイ・フルーツの果肉の色】後者は、「ゴールド」と呼ばれることもある。
- (82) ホワイト / ルビー【グレープフルーツの果肉の色】後者はピンク色の果肉をしている。
- (83) ブルー / ピンク【新生児の男女の色分け】赤ん坊や子供用の服や日用品、トイレの表示などに用いられる（英語の *blue* / *pink* の成立事情については、山田（2017：284）を参照のこと）。

⑦ 定型表現：a. 慣用句 b. 諺 c. 挨拶 d. オノマトペ

a. 慣用句

- (84) 水 / 油【相性が良くない物】「水と油」という慣用句より。
- (85) 度胸 / 愛嬌【男・女に望まれる違った資質】「男は度胸、女は愛嬌」という慣用句より。度胸と愛嬌は脚韻を踏んでいて語呂がいい（「男」と「女」は頭韻）。この対比は、男女に関わる古風なステレオタイプを示し、「草食系男子」と「肉食系女子」が注目される現代では、時代錯誤の感がある。
- (86) 鬼 / 福【不幸と幸運】節分の時の掛け声「鬼は外、福は内」より。
- (87) 甲 / 乙【二つのものの優劣】十干の最初の二つで、前者は第一、後者は第二を意味する。「甲乙付け難い」という慣用表現があり、二つのものについて、優劣をつけるのが難しいことを示す。

b. 諺

- (88) 一挙兩得、一石二鳥 / 虻蜂取らず、二兎追う者は一兎をも得ず【一度に二つのことをして、成功することと失敗すること】要領よく物事を成し遂げることと欲張りすぎて失敗することをそれぞれ指す。
- (89) 海老で鯛を釣る / 骨折り損のくたびれ儲け【費やした労力と得られる利益のバランス】前者は、僅かな労力で大きな利益を得ること、後者は、大きな労力をかけたのに利益が少ないことを意味する。

- (90) 立つ鳥跡を濁さず / 後は野となれ山となれ【何かをした後の去り際の姿勢】最後までしっかり責任を全うすることと、責任を取らずに立ち去ることを表す。

その他にも多数候補がありそうで、ある諺に出会った時、その反対のものも覚えると、それはまさに一石二鳥となるであろう。反対語辞典の中には、特に付録として諺を収録しているものがあり、利用価値がある。例えば『三省堂反対語便覧』と『活用自在反対語対義語辞典』がその代表で、『反対語対立語辞典』には「故事ことわざ・四字熟語・慣用句」(pp. 454-503)という部分があり、参考になる。例えば、四字熟語の例としては、**賛否両論 / 満場一致** (p. 475), **杓子定規 / 臨機応変** (p. 476), **支離滅裂 / 理路整然** (p. 479)などが挙げられている。

c. 挨拶

- (91) おはよう (ございます) / おやすみ (なさい)【一日の始めと終わりの挨拶】
- (92) 行ってきます / ただいま【外出時と帰宅時の挨拶】外出する人が家の人に向かって言う。
- (93) 行ってらっしゃい / お帰り (なさい)【外出時と帰宅時の挨拶】家にいる人が、外出する人に向かって言う。
- (94) いただきます / ごちそうさま【食事の始めと終わりの挨拶】
- (95) いらっしゃいませ / ありがとうございます【店員の客に対する挨拶】

これらの挨拶の例は、日本の日常生活（家庭や親子関係、食卓と食文化、顧客サービスなど）のあり方（又は、その理想像）を端的に表現する定型表現になっていて、日本の文化理解に重要かつ不可欠なペアであろう。

d. オノマトペ

- (96) ノロノロ / スタスタ 【歩き方】「ノロノロ歩きを、スタスタ歩きに。」という再春館製薬所の老化予防剤の広告より（読売新聞、2018年1月15日，p.18）。
- (97) ぎゅうぎゅう / スイスイ 【通勤時の人の流れ】地下鉄を利用する乗客の混雑解消を目指した「ぎゅうぎゅうを スイスイへ！」という東京メトロの広告より（池袋駅，2018年3月29日）。前半の6文字の平仮名表記と後半の4文字「すいすい」のカタカナ表記の対比が効果的である。それぞれ混雑感と軽快感を上手に表現している。

オノマトペの多彩さは、日本語の特徴の一つとされていて、上記の実例の他にも多様な組合せやバリエーションがあると考えられる。

⑧ その他

- (98) 体 / 頭 【身体の部位の対比】**体と頭**を対比的に捉えることがよくある。例えば、加島祥造の『求めない』（2007年，小学館）という詩集には、以下のような一節がある（p.141，太文字は著者）：

体と頭のどちらの求めに
より多く従っているか
体より頭が威張っていて
よけいに求めすぎていないか…

同書には、この他にも体と頭の対比が数か所出てくる。また、英語の諺に *A sound mind in a sound body*.（健康な体に健全な精神が宿らんことを：元はラテン語）があり、類似の対比を示している。

- (99) フィジカル / メンタル 【身体と精神の対比】スポーツ中継の解説でよく耳にするペアで、選手の身体面と精神面を対比させる。上記の**体 / 頭**とも共通点がありそうだ。なお『三省堂反対語便覧』に

は最後にカタカナ語の反義語集がまとめて収録されており、参考になる（ただし、残念ながらフィジカル／メンタルの記述はない）。

- (100) **チャンス / ピンチ**【好機と危機】「ピンチをチャンスに変える」などのように対比的に用いる。
- (101) **可燃ごみ / 不燃ごみ**【ごみの分別】分かりやすく、分別用ごみ袋を色分けしている自治体もある（八王子市では、**可燃ごみ**は青色の袋に、**不燃ごみ**は黄色の袋に入れる）。
- (102) **化粧 / すっぴん**【女性について化粧の有無】後者は、「素っぴん」で、化粧をしていない顔をさす。**すっぴん / 厚化粧**という対比も考えられるであろう。
- (103) **ローマ字入力 / かな入力**【パソコンの日本語入力方式】現在は、前者が圧倒的に多い。
- (104) **敬語 / ため口**【相手に対する言葉づかいのスタイル】後者は年下の者が年長の者に対等の話し方をすることを指す。他に、**丁寧体 / 普通体**という対比もある（「〈対談〉日本語はこんなに面白い」（清水義範，金水敏の対談）『図書』2013年5月号，岩波書店，p.8）。

3.2 政治・経済・社会：①政治，②社会，③マスメディア，④医療

① 政治

- (105) **首相 / 大統領**【国のトップ】前者は内閣総理大臣の通称である。
- (106) **衆議院 / 参議院**【日本の国会の二つの院】
- (107) **護憲派 / 改憲派**【現行の憲法に対する相反する考え方】前者は現行憲法を変えずに守ること，後者は改定することを主張する。
- (108) **推進派 / 慎重派**【東京の築地市場の豊洲移転に対する賛成派と反対派】国語辞典（『デジタル大辞泉』）には、「推進」に反義語の記述はなく、「慎重」の反義語は「軽率」となっている（並行して、

築地 / 豊洲【東京の中央卸売市場の新旧の所在地】という対比も一時大きな話題となった)。両派の対比は、イギリスのEU離脱問題(Brexit)の *leave / remain* (離脱 / 残留) の選択を思い起こさせる(山田 2017 : 283)。

② 社会

- (109) **左遷 / 栄転**【地位や身分の変更】前者はより低い地位へ、後者はより高い地位への変更を指す。
- (110) **表 / 裏**【公式と非公式の区別】裏は、公式な表と反対側にあり、「主だっていないこと。中心でないこと」を表す(『デジタル大辞泉』, 裏の7番目の用法)。表の存在を前提して、その背後にあるものを指し、「番組, 情報, 事情, 社会, 街道, ビデオ」などと共に用いる。英語の *Plan A* (原案), *Planet A* (地球) に対する *Plan B* (代案), *Planet B* (地球に代わる代替惑星) の関係(山田 2017 : 286 で解説) と類似している。
- (111) **火葬 / 土葬**【遺体の処理方法】2011年の東日本大震災直後、火葬場が使用不可となり、本来は火葬するところであるが、放置すると第2次感染の恐れがあったので、仮埋葬として土葬することに決めた、という報道があった(岩手県釜石市)。
- (112) **平服 / 礼服**【会などに出席する際の服装】普段の衣服と儀式に着る衣服を指す。
- (113) **制服組 / 背広組**【自衛隊員の区別】前者は、いわゆる職業軍人で武官とも呼ばれ、後者は事務方の文民官僚の通称で、文官ともいわれる。
- (114) **国家公務員 / 地方公務員**【公務員の区別】
- (115) **派遣 / 社員**【社員の雇用の種類】前者は派遣社員の略で、後者は正社員を指す。

- (116) **仕事 / オフ**【仕事とそれ以外の時間の区別】和語と外来語がペアになる珍しい例の一つである（既出のご飯 / パンも同様）。ある鉄道とバス運行会社の IC 定期券の宣伝に「仕事の私も オフの私もこれ一枚。」（モットクパス・京王バス 2017 年 9 月：太文字は著者）という例があった。

③ マスメディア

- (117) **草食系 / 肉食系**【若い男性の分類】2009 年の流行語で、動物の分類を基に、前者は弱弱しく頼りない男性を、後者は力強く頼もしい男性を指す。最近では女性についても特に「肉食系女子」ということがある。
- (118) **醤油顔 / ソース顔**【顔つきの分類】代表的な味付けである和風の醤油と洋風のソースの違いに基づいた対比で、前者は顔の彫りが浅くて一重まぶたの薄目の顔立ち、後者は彫りが深く二重まぶたの顔立ちを表す。
- (119) **黒髪 / 茶髪**【髪の色】「くろかみ」と「ちゃぱつ」。
- (120) **直木賞 / 芥川賞**【代表的な文学賞】直木賞は大衆文学の新人・中堅作家へ、一方芥川賞は純文学の新人作家へ贈られる賞である（どちらも 1935 年文藝春秋社が設定）。

④ 医療

- (121) **先発医薬品 / ジェネリック医薬品**【薬の選択】後者は、先発医薬品の特許が切れた後に他社が製造する、より安価な薬を指す。「後発医薬品」ともいわれる。英語では *brand / generic* というペアを用いる（山田 2017 : 272 参照）。
- (122) **外来診療 / 訪問診療**【診察の種類】患者については、**外来患者 / 入院患者**というペアがある。

- (123) **裸眼視力 / 矯正視力**【視力の種類】前者はメガネやコンタクトレンズを使用しないときの視力，後者はそれらを使用したときの視力を指す。
- (124) **胃カメラ (内視鏡) / バリウム**【胃の検査の種類】内視鏡による検査か，またはバリウムを飲んだ後の X 線写真による検査か，という区別を示す。
- (125) **腹腔鏡手術 / 開腹手術**【(内科) 手術法の種類】前者は腹腔鏡を使った手術で，より高度な技術が必要だが，患者の身体的負担が少なく，回復も早い（読売新聞，2015年3月7日，p.1）。2010年～2014年にかけて，ある大学病院で**腹腔鏡手術**の後，相次いで患者が亡くなるという死亡事故が起きて，注目された。

3.3 教育・文化：①教育，②スポーツ，③その他

① 教育

- (126) **公立 / 私立**【学校の分類（特に中学校，高等学校）】
- (127) **国公立 / 私立**【学校の分類（特に大学）】
- (128) **全日制 / 定時制**【学校の分類】前者は平日の昼間に授業を行うのに対し，後者は夜間やその他特定の時間や時期に授業を行う。
- (129) **年内 / 年明け**【大学の入学試験の区分】前者は入学の前年の秋に行われる推薦入試，後者はその翌年初めに実施される一般入試を指す。
- (130) **推薦入試 / 一般入試**【入試区分】前者は年内試験，後者は年明け試験とも呼ばれる。
- (131) **文化部 / 運動部**【課外活動の分類】
- (132) **文化祭 / 体育祭**【学校行事の代表】
- (133) **ブレザー / セーラー服**【女子の制服】後者は，少数派になってきているようだ。

- (134) **ブレザー / 詰襟**【男子の制服】これも後者は、セーラー服ほどではないが、少数派になってきたようだ。
- (135) **入学式 / 卒業式**【学校の式典】**入学 / 卒業**という対比に基づいている。
- (136) **グループ / 個別**【塾での指導の種類】ある塾のチラシに「**グループ指導と個別指導**、どちらも試せる！」という宣伝文句の広告があった（栄光ゼミナール、2017年2月：太文字は著者）。

大学

- (137) **必修科目 / 選択科目**【授業科目の分類】
- (138) **教養（教育）科目 / 専門科目**【授業科目の分類】前者の名称は、大学により違う。
- (139) **文系 / 理系**【進路の選択】読売新聞（2015年5月26日）に、「私は文系と理系、どっちに向いてるの？」というタイトルの記事があった（太文字は著者）。
- (140) **体育系 / 文化系**【課外活動の分類】
- (141) **専任 / 非常勤**【教職員の身分】教員及び教育関係の仕事につく職員の区分を指す。
- (142) **教員 / 職員**【学校内の職員の区別】最近**教育職員 / 事務職員**という新たな呼び名が使われている。通常は、**教員 / 学生・生徒・児童**という対比が反義語のペアをなす。
- (143) **早稲田 / 慶応**【関東地区の私立大学の代表】両校を略して**早慶**という（類例のイギリス版 *Oxbridge* については、山田2017：289参照）。両大学の運動部の試合（野球、ラグビー、サッカー、レガッタなど）は、**早慶戦**（慶応では**慶早戦**）と呼ばれる。

英語教育

- (144) **教養主義 / 実用主義**【英語教育の目的】
- (145) **英和辞典 / 和英辞典**【英語辞典の種類】英語と日本語のバイリン

ガル辞書の区別を示す。

- (146) **英和辞典 / 英英辞典**【英語辞典の種類】英語辞典に関して、バイリンガルかモノリンガルかの区別を表わす。上記のペアと共に、異なる対比の視点から、同一の語（句）[ここでは**英和辞典**]が複数の語（句）と反義語ペアを成す好例である。
- (147) **紙 / 電子**【辞書の種類】冊子の辞典と電子辞典の区別である。今の若者にとっては、辞書というと電子辞書のことを指すと思われる。この対比は、**手紙 / 電子メール**にも通じ、さらに一般的には、**紙媒体 / 電子媒体**という対比であろう。また、スマホの急速な普及により、今や**電子 / アプリ**という対比の方がより現実味を持っていると思われる。

② スポーツ

- (148) **セ・リーグ / パ・リーグ**【日本のプロ野球リーグ】それぞれセントラルリーグ、パシフィックリーグの略である。
- (149) **巨人 / 阪神**【プロ野球の伝統ある対戦相手】それぞれ関東と関西の代表チームで、(関東では)巨人阪神戦と呼ばれ、多くのファン(巨人ファン / 阪神ファン)を沸かしてきた。
- (150) **生え抜き選手 / 移籍選手**【スポーツ選手の分類】特に野球やサッカーで、あるチームに初めから所属しているか、又は他チームから移籍してきたかの違いを指す。
- (151) **個人 / 団体**【スポーツ競技などの分類】体操、卓球、バトミントンなどで、個人競技と団体競技を指す。旅行についてもこの区別がある。**個人**とペアになる語には、**集団**、**組織**、**チーム**(**個人プレイ / チームプレイ**)などもある。
- (152) **イエローカード / レッドカード**【サッカーなどの試合で選手の反則に対する罰則の分類】前者は警告、後者は退場を示す。同様に、

経営悪化の度合いを示す対比にイエローゾーン / レッドゾーンがあり、後者の方が危険の度合いが高い。

③ その他

広告コピー

- (153) **ご飯 / お風呂**【帰宅時の選択】帰宅した夫に向かって、妻が「ご飯にする？ お風呂にする？」と尋ねる会話より（専業主婦の妻が家で夫の帰りを迎えるという場面設定である）。あるビールの広告に「おふろ？ ごはん？」というものがあつた（サントリーの「金麦」（ビール）の車内広告・京王線内，2011年：太文字は著者）が、どちらの選択にもビールがよく合うというメッセージが込められていた。
- (154) **ビール / お風呂**【帰宅時の選択（特に夏場）】「お帰りなさい。ビールにする？ それともお風呂が先？」（朝日新聞，2013年8月7日，p.21，ビールの広告：太文字は著者）。

習慣

- (155) **お中元 / お歳暮**【季節の贈り物の代表】
- (156) **暑中見舞い / 年賀状**【季節の挨拶状】他に残暑見舞い，寒中見舞いなどもあるが，この二つほどは一般でない。ただ，このような書状を出す頻度は今急速に下がっている。
- (157) **クリスマス / お正月**【年末・年始にかけての二大行事】
- (158) **大安 / 仏滅**【縁起の良い日と悪い日】歴注の六曜の中の二つで，今でも重要な行事の日程を決める際に参考にすることがある。
- (159) **建て前 / 本音**【人の言動に関する二面性】表向きの原則と本当の気持ち・本心からの考えをそれぞれ指し，「建て前と本音」と対比させて使うことが多い。これも日本文化の特徴であろう。
- (160) **おかめ / ひよっこ**【女性と男性の仮面】ふくよかでおたふく（阿多福，お多福）のような顔の女（お亀，阿亀）と，火を吹く時のよ

うに口を尖らせ、滑稽な顔をした男を指す。古くから縁起物としてとして扱われ、お祭りの踊りなどに登場する。

落語

- (161) **古典落語 / 新作落語**【落語の分類】古典落語は昔から語り継がれた噺で、新作落語は明治末期以降の作られたもので、作者がはっきりしている。
- (162) **滑稽噺 / 人情噺**【落語の演目の分類】前者は文字通り笑いを取る噺、後者はよりストーリー性を重視した噺を指す。

3.4 文化的反義語の変遷

本稿でいう文化的反義語は、私たちの現実世界での経験に基づいて誕生するので、その現実世界に変化が起これると、それに伴い消えていくものや新たに誕生するものが出てくる。本稿でここまで挙げた例は、現在使用されているものであるが、以下では、現実世界の変化の影響を大きく受けた例を挙げて、その変遷をたどる。

まずは、現在は使用されることが少なくなったペアの例を挙げる：

- (163) **光沢 / 絹目**【写真のプリント仕上げの種類】英語でも *glossy / silky (matte, つや消し)* というペアがある (山田 2017 : 293)。近年光沢が一般的であるが、そもそも写真をプリントしないことが多くなったので、使用されることがほとんどなくなった。
- (164) **液晶 (テレビ) / プラズマ (テレビ)**【高品位薄型大型テレビの種類】薄型大型テレビが出始めた時の選択肢であったが、現在、後者は姿を消し、今後は**液晶 / 有機 EL**の対立になると予想されている。
- (165) **白黒 / カラー**【色彩表示の区別】白黒 (モノクロ [ーム]) とカラーの対立は、写真、映画、テレビ受信機などで以前はあったが、今はカラーが主流 (無標) で、この対立はほとんどなくなった。限

定的に、コピー、スキャン、PCプリント、印刷に関してはまだ選択肢として残っている。映画もカラーが無標であり、敢えて有標の白黒を使用することで、特別な効果を生み出すことがある。

- (166) 文 / 武【学びの領域】**文事**と**武事**の対比より。それぞれ学問の道と武芸の道を指す。この両方を備えることを「文武両道」というが、この考え方自体が古めかしく過去のものとなりつつある。同様の対比を、英語ではより具体的な *pen / sword* というペアで表す (山田 2017 : 281)。

次の3つの例は、現在使用されてはいるが、現実世界の変化に応じて、今後変わることが確実なペアである：

- (167) オートマ (車) / マニュアル (車)【自動車のトランスミッションの種類】前者は、オートマチック・トランスミッション (automatic transmission, 自動変速装置) の略で、それを搭載したAT車を指し、後者は、手動でギアを変える車のことである。現在は、オートマが圧倒的に主流で、マニュアルは少数派であり、消えつつある。
- (168) ガソリン車 / ハイブリッド車【自動車のエンジンの種類】これは現時点でのペアで、後者はガソリンを燃料とするエンジンと走行中充電で動くモーターの両方を装備した車である。しかし、このペアは将来的には変わる可能性が高く、今後はガソリン車が減り、電気自動車 (EV) へと進むであろう。ただ、その前段階として電気とガソリンの両方で起動するプラグインハイブリッド車 (PHV) が現れると予想されている。PHVはEVに比べて走行距離が長い利点がある (読売新聞, 2018年8月24日)。
- (169) 一般 / ETC【高速道路の料金支払方法】**一般**は現金やクレジットカード支払い、**ETC**はETCカード自動支払いを指し、「一般車」と「ETC車」を分類している。数年前までは、**一般**が主流 (無標)

であったが、*ETC*の普及が急速に進み、現在は*ETC*が一般的（無標）になりつつあり、有標・無標の逆転が起きている。そうなる
と、現在の一般が有標となり、それに合せて表示も変化する必要がある。そして、最終的には*ETC*へ一本化され、この対立もなくなる可能性が高い。

現実世界の変化が語彙の構造に変化を与えるのは文化的反義語特有の現象ではなく、語彙全般に当てはまる。ここで見た変遷の例のように、文化的反義語は、その時々
の文化的背景を色濃く反映するので、そのような変化を直接的に受けることになる。見方を変えれば、文化的反義語の変化をたどることで、その背景にある文化の変化を明示することができるという利点もある。

4. 終わりに

本稿で、著者はこの数年間収集してきた日本語の文化的反義語の実例を示した。まず第2節では、文化的反義語を定義し、さらにこれまで他の研究で触れられてきた代表的な例を確認し、第3節では、著者が集めた文化的反義語の実例を分野別に提示し、適宜解説を加えた。本稿をまとめて、改めて文化的反義語を意識して学ぶ・教えることは、日本語学習の促進と日本語圏文化の理解に有意義であるとの思いを強くした。本稿を契機に文化的反義語の有用性が認識され、日本語のみならず他の言語でも研究が進むことを望みたい。さらに、そのような研究が、異文化理解や辞書の記述の向上に活用され、さらに、翻訳や通訳などの実務にも応用されれば幸いである。

今後の研究課題としては、次の二点を挙げる。まずは、オノマトペの中での文化的反義語探しである。本文中でも一部実例（ノロノロ / スタスタ、ぎゅうぎゅう / スイスイ）を示したが、日本語の特徴の一つである

オノマトペについて文化的反義語の観点から、どのような反義語ペアがありうるかを調査したい。広告などを中心に創造的に使用されている例が多くあるであろう。

二つ目は、文化的反義語の使用状況を談話分析の手法を用いてより実証的に明らかにしたい。文化的反義語は、特定の文脈上で成立する反義語であるので、談話の中でその使用状況や機能を調べることで有意義な特徴が解明されるであろう。最近の例であるが、ボクシングの世界タイトルマッチに関する新聞記事の中で、対戦予定の二人が「雑草 vs エリート」と対比的に描写されていた（読売新聞、2018年9月12日、p.21）。前者はいろいろな挫折を経験してきた現王者、後者はこれまで順調に輝かしい戦歴を残してきた挑戦者を指していた。雑草は、野生のたくましい生命力を彷彿させるが、通常の国語辞典や反対語辞典には、エリートとの反義性には言及がない。特定の文脈での限定的な意味合いの濃い反義語ペアであろう。雑草／エリートという比喩的な対比を使用することで、二人の違いを読者に効果的に印象付けることに成功していると言えそうだ。このように実際の反義語ペアの使用とその効果を文脈の中で精査し、ことばが持つ創造性的一端を解明したい。

以上、本稿が文化的反義語のさらなる研究に少しでも役立てば幸いである。

《注》

- (1) 国広（2002：168-9）は、反義語の中には、通常の「一本の系列ではなくて、二次元的な体系をなす」場合があるとし、その例として「山」を中心にその前後左右に「野、谷、海、川」が位置する語彙体系を提案している。そこから場面に応じて、「野・山」、「山・海」、「山・川」、「山・谷」などの対義語（場面的対義語と呼ばれる）が誕生すると述べている。沖森（2011：75）にも、「山」を中心に様々な対立関係（「川」、「野」、「海」、「谷」、「陸」）を示す図式が掲載されていて参考になる。
- (2) 「山」に注目して、その反義語を問う場合と「海」を挙げて反義語を問う

場合では、その反応が違う可能性がある。「山」から「海」への反応は可能性が高いが、「海」の反義語としては、「陸(りく)」、「陸(おか)」(『三省堂反対語便覧』, p. 28) が最有力で、その他の反対語辞典には「山」、「空」、「湖」などが記載されている。文化的反義語のペアには、両者の関係に方向性がありそうだ。

- (3) 北原・東郷(編)の『反対語対照語辞典』(1989: 4) は、「赤, 白, 黒」の3色と「赤, 黄色, 青, 緑」の4色の反義関係を示す図式を掲載していて参考になる。

参考文献

[和書]

- 大塚高信・中島文雄(監修). 1982. 『新英語学辞典』東京: 研究社.
沖森卓也 他. 2011. 『図解日本の語彙』東京: 三省堂.
国広哲弥. 2002. 「類義語・対義語の構造」飛田良文・佐藤武義(編)『現代日本語講座第4巻語彙』東京: 明治書院, pp. 152-171.
田中章夫. 2005. 「対義構造の性格」宮地(編)所蔵, pp. 77-88.
宮地裕(編). 2005. 『『日本語学』特集テーマ別ファイル(2)意味Ⅱ』東京: 明治書院(「対義語」部分は1987年6月号の再録).
村木新次郎. 2005. 「対義語の輪郭と条件」宮地(編)所蔵, pp. 89-101.
毛利可信. 2005. 「対義語・類義語・類縁語」宮地(編)所蔵, pp. 102-110.
森岡健二. 2005. 「私の対義語観」宮地(編)所蔵, pp. 68-71.
山田政通. 2015. 「文化的反義語の試案——第4のカテゴリーとして——」拓殖大学語学研究(言語文化研究所)第133号, pp. 149-172.
山田政通. 2017. 「文化的反義語——英語の実例集——」拓殖大学語学研究(言語文化研究所)第137号, pp. 261-297.

[英書]

- Hofmann, Th. R. 1993. *Realms of Meaning: An Introduction to Semantics*. Essex and New York: Longman.
Murphy, M. Lynne. 2003. *Semantic Relations and the Lexicon: Antonymy, Synonymy, and Other Paradigms*. Cambridge, UK: Cambridge University Press.
Yamada, Masamichi. 2009. "Making More Sense of Antonymy in English." 拓殖大学語学研究(言語文化研究所)第120号, pp. 43-79.

[反対語辞典]

- 浅野鶴子（編）. 1978. 『擬音語・擬態語辞典』東京：角川書店.
- 北原保雄・東郷吉男（編）. 1989. 『反対語対照語辞典』東京：東京堂出版.
- 三省堂編修所（編）. 2008. 『三省堂 反対語便覧（新装版）』東京：三省堂.
- 三省堂編修所（編）. 2017. 『三省堂 反対語対立語辞典』東京：三省堂.
- 塩田紀和・中村一男（編）. 1957. 『反対語辞典』東京：東京堂出版.
- 反対語対照語編集委員会（編）. 1988. 『活用自在 反対語対照語辞典』東京：柏書房.

[国語辞典]

- 新村出（編集）. 1998. 『広辞苑』（第5版）東京：岩波書店.
- 松村明（監修）. 2012. 『デジタル大辞泉』東京：小学館.

[英語辞典]

- OALD = Oxford Advanced Learner's Dictionary* (9th edition). 2009. Oxford, UK: Oxford University Press.

（原稿受付 2018年11月20日）